

平成22年度 第3回 読書のまち八王子推進連絡会議 会議録

日時 平成22年11月26日(金) 午後6時00分～8時00分

場所 八王子市中央図書館 3階 会議室

出席者氏名

委員

三浦 眞一 山崎 久道 斉木 治枝 小林 恵子
鈴木 康弘 松葉 由理子 大東 有希 大橋 道代
穂坂 敏明 蔵重 佳治(田中委員代理)

欠席委員

野口 佐和子 黒田 八千代 斉藤 和巳 常盤 義輔
遠藤 護人 木内 雅彦 田中 大吾

事務局

望月中央図書館長 中村生涯学習センター図書館長
田中南大沢図書館長
中央図書館 一杉主査
生涯学習センター図書館 田中主査
南大沢図書館 新井主査 松島主査

傍聴人 0 人

事務局(田中南大沢図書館長)

本日はお忙しいところ、平成22年度第3回読書のまち八王子推進連絡会議にご出席いただきましてありがとうございます。

それでは、これより読書のまち八王子推進連絡会議の進行を三浦会長にお願いいたします。

三浦会長

お疲れの中恐縮ですが、第3回読書のまち八王子推進連絡会議を開催させていただきます。

本日の会議につきましては、過半数を満たしておりますので、有効に成立していることをご報告申し上げます。

野口委員、木内委員、遠藤委員、黒田委員、常盤委員、斉藤委員は所用のため欠席の連絡がありました。

田中委員の代わりに今日は蔵重委員に出席いただいておりますので後ほど、ご報告をお願いいたします。

傍聴人はございません。

会議録の署名委員は、松葉委員にお願いしたいと思います。

(松葉委員の了解があった。)

それでは、会議資料の確認をお願いします。

事務局（新井主査）

恐れ入りますが、お手元の配布資料の確認をお願いします。

会議次第の次から

- No.1. 読書のまち八王子推進連絡会議委員名簿
- No.2. 八王子市図書館システム再構築第2次審査（抜粋版）
- No.3. 補正予算の概要
- No.4. 「学校貸し出しの配送便がはじまります」
- No.5. 八王子読書フォーラム報告資料
- No.6. 「読書のまち八王子」推進コンクールについて
参考資料として、「らいぶらりいー八王子図書館報」
以上ですが、不足などありましたらお申し出ください。
（ 資料の確認が行われた。 ）

三浦会長

ご通知しております報告事項1の「山崎久道氏の委員就任」につきまして事務局からご説明をお願いいたします。

事務局（田中南大沢図書館長）

この推進会議の学識経験者枠として選出されていましたが、今ほど子委員がご都合により9月30日に退任されました。後任として中央大学教授の山崎久道先生に委員をお願いするものです。任期は平成24年3月31日までです。先生は中央大学文学部で図書館情報学がご専門であり、本市の生涯学習審議会委員もお願いしておりました。

山崎先生、ご挨拶をお願いいたします。

山崎委員

山崎久道と申します。私は今先生の後任ですが、中央大学でも後任として教鞭をとらせていただいております。今後何かお役に立つことがあればうれしいと思っております。参加させていただいた次第です。よろしくお願い申し上げます。

事務局（田中南大沢図書館長）

職務代理者の選任であります。要綱では会長が指名することとなっておりますので、よろしくお願い申し上げます。

三浦会長

高い見識をお持ちの山崎先生に職務代理者をお願いしたいと思っておりますので、皆様よろしくお願い申し上げます。

事務局（田中南大沢図書館長）

会長の指名により、職務代理者は 山崎委員にお願いいたします。
指名された 山崎委員さん職務代理者席へお移り下さい。

(山崎委員が職務代理者席に移動した。)

三浦会長

それでは、報告事項2の「9月補正予算について」のうち「学校図書館活用に向けた基盤整備について」ご説明願います。

蔵重委員

資料No.3の「補正予算の概要」のうち「(新)学校図書館活用に向けた基盤整備」をご覧ください。

この予算の所管は施設整備課となっております。

教育センターの2階にある和室に、庁舎内で使用していたパソコンを持ち込み、再利用できるようにOS等をインストールする作業を進めているものです。市内小中学校108校それぞれに、このパソコンを配備し、将来的に図書館のシステムと連携するなど活用を図ればと考えているものです。

三浦会長

教育センターにある機器を再構築するということですね。

蔵重委員

機器は別で、教育センターは作業場ということですか。

小林委員

全部で何台のパソコンにOSをインストール中なのですか。

蔵重委員

全小中学校分プラス20～30台くらい、合わせて120～130台程度が稼働できるように進めているところです。

山崎委員

具体的にはネットワークにつながることができるようにOSを入れ替えているということなのですか。

蔵重委員

学校間や図書館とネットワーク化されることが望ましいし、そうなるための第一歩だが、まだそこまではいかない。まずは、パソコンを使った蔵書データの管理をすることから始めたいということですか。

三浦会長

元になる各校のデータベース部分をつくるということですね。

斉木委員

教育用ネットワーク接続作業委託料とは具体的には何をさすのか。

蔵重委員

基盤整備費用32,046,000円の内訳であり、上段の消耗品購入費が物件費で、下段にある教育用ネットワーク接続作業委託料が労務費ということで計上されております。

大東委員

学校図書館の図書をデータベース化することだが、管理ソフトはどういうものを使うのでしょうか。

蔵重委員

独自に構築するか購入するかも具体的には決まっていません。ネットワーク化の第一歩として各学校に配置するということです。

三浦会長

使える状態にした再利用パソコンを配って、各学校で蔵書のデータベースを入れてもらい、今後のネットワーク化が図っていければ良いということですね。

松葉委員

具体的にいつ各校にそのパソコンが設置されるのでしょうか。

蔵重委員

今年度中に配置し、来年度には稼働したいと考えています。

小林委員

データベース化の作業は誰が担っていくのか。ボランティアなのか、教職員なのか。

蔵重委員

ボランティアの方々のご協力は必要になると思いますが、現段階では、どのような形になるのかははっきり決まっておられません。

三浦会長

パソコンを配布する段階あたりまでに、どうやって入力するかなどある程度学校側との調整は済ませるということですね。

蔵重委員

データの入力方法も含めて検討していますので、いつまでに決まるかは確定できない状況であり、同時進行となる可能性もあります。

三浦会長

各校のデータベースの入れ方は、統一されている方が後々使いやすいですね。そのあたりも調整をされているようですのでお待ち願

たいと思います。

山崎委員

各学校の蔵書にそれほど違いはなく、図書館に所蔵されているものもある。図書館で持っているデータを学校との間で融通し合い入力の手間を軽減するということは行った方が良いでしょう。

いろいろな方法を検討し最適な方法を選択した方が良いでしょう。

三浦会長

ISBNコードなどを活用して、学校側の作業の軽減を図るような手法を活用していくというアドバイスを参考にさせていただきたい。

大橋委員

モデル校以外に独自にデータベース化しようとした学校があったという話を聞いたことがあるが、現状について把握されているか。

また、委員の鈴木校長は実際の導入に携わった方なので、ぜひ当時のお話などを伺えればと思います。

三浦会長

鈴木委員よろしいでしょうか。

鈴木委員

平成15年度あたりだったと思うが、小学校1校と中学校1校でデータベース化をするため、NECのソフト「探調」を使いデータベースの構築を行った。ISBNコードと一致する図書館流通センターのデータを使った。センターのデータ使用料は年間9万円くらいのところを先駆的使用ということで5万円の契約だったようだ。

データやソフト使用の費用がかからないのがベストだと思う。現在進められている新しい図書館システムがそのあたりに対応できるものであれば良いと考えている。

作業ではISBNコードのない図書は手入力となったが、入力の仕方が少しでも違うと別データになってしまったので、相互利用などを考えるとソフトや元データを同じもので構築すると良いと思う。

恩方中学校では約1万冊を入力するのに1年半くらいかかった。

図書ボランティアと教職員での大変な作業となったが、児童たちで本の貸し借りがバーコードを使いできたり、クラスごとや学年別に集計が行えたりするなど便利に活用できた。

三浦会長

ISBNコードも今はバーコードがなくても読み取りができるようになっており、5年くらい前とはOSやソフトもドラスティックに変化しているので、今は作業がずいぶん楽かなと思われそうです。

委員

第三中でも独自に進めようとして、施設整備課に聞いたところ確定していないのでデータはエクセルに残せるようにして東北の高校の先生が開発した無料のシステムを使っていた。参考にしてもらいたい。

三浦会長

いろいろな情報も得ながら進めているようですので、きちんと決まりましたらそのあたりも含め報告していただきたいと思います。

蔵重委員

もうひとつ申し添えますが、その前にやらなくてはならないこととして各学校の環境整備だと考えています。誰も手にしないような古い本も蔵書としてデータ化していく、というのは違うのではないかと思います。今後の作業をしやすいするためにも、廃棄や修復をはじめとした環境整備を行いたい。そうした中で利用度を上げながら、データベース化も図っていきたいと考えております。

三浦会長

それでは、報告事項2の「9月補正予算について」のうち「図書館システムの更新について」ご説明願います。

中村生涯学習センター図書館長

9月補正予算のうち、「図書館システムの更新」についてご報告いたします。

図書館システムは、当初23年度中に更新準備を行い、更新する予定でしたが、システムの老朽化等により今回補正予算が通りましたので、計画を半年早め22年度から更新準備を行い、23年4月に新システムの運用を開始することになりました。

お手元の資料No.2をご覧ください。新たに導入することになりましたシステム名称は、京セラ丸善システムインテグレーション株式会社の「エルシエロ」という図書館システムです。

このシステムの特徴は、3月に策定されました「第二次読書のまち八王子推進計画」の中で「ICTを活用したサービスの向上」に取り組むことになっていますが、資料2ページ上段の「提案コンセプト」にありますように、図書館から市民の方への積極的な情報発信が可能となっています。

また、「レスポンスの向上」とありますように、検索時間の短縮が可能となります。資料4ページ「システムの特徴について」の表をご覧ください。「日本」で検索したときのレスポンス速度の比較があります。右側に「エルシエロ」の例として、目黒区の検索結果が出ていますが、「2秒で146,686件」とあるように、検索が飛躍的に向上します。

さらに、統計等を作成する場合も、現在のシステムは集計を作成するのに時間がかかる上煩雑でしたが、今回導入する「エルシエロ」は使いやすく、豊富なデータを集計することが可能となっています。

今後の予定については、資料6ページにあります「システムの導入スケジュールについて」沿って、作業を進めてまいります。

なお、学校図書館との連携については、資料7ページに「拡張性について」「豊富なオプション機能」の中に「学校図書館システム連携」がありますが、新システムが稼動する来年4月の段階では、学校図書館にあるパソコンから、学校で必要な調べ学習用図書や学校貸出用図書の検索とリクエストが出来るように、学校にIDとパスワードの配布を行う予定でおります。報告は以上です。

三浦会長

事務局からの説明は終わりました。ご意見ご質問などありましたらお願いします。

山崎委員

このパッケージソフトのカスタマイズはどの程度なのか。

中村生涯学習センター図書館長

カスタマイズは最小限にとどめます。資料にもありますようにこのシステムは年1回バージョンアップを行うこととしています。カスタマイズし過ぎるとバージョンアップもできなくなるため、カスタマイズは最小限にしながらバージョンアップで良いものを反映させていきたいと考えています。

山崎委員

私もそのほうが良いと考えます。もうひとつの問題点として、カスタマイズを重ねるとシステムの動きが不安定になるということもあります。費用の面から考えてもカスタマイズは割が良くないので、パッケージに合うよう業務改善等を行っていくと良いと思います。

望月中央図書館長

業者決定にあたっては、プロポーザル方式を採用しました。

価格とシステム内容の両面を市のIT推進室職員などと一緒に点数をつけて検討したもので期待しているものです。その中でカスタマイズについては、システムの安定性を考え最小限に抑えようというものです。

山崎委員

現在使っているシステムと業者が変わるということで、図書館サービスの継続性という観点からも、データ移行の問題点はないのか。

中村生涯学習センター図書館長

データ移行の不安はありません。ただし、ソフトが変わるので利用される方にも慣れていただく必要があります。

山崎委員

具体的には、画面のイメージが変わるといえるようなことですか。

中村生涯学習センター図書館長

画面のイメージは大きく変わります。

山崎委員

無理に以前と合わせる必要はない。変わるということを理解していただければ良いと思う。

三浦会長

他にご意見ご質問ありますでしょうか。

委 員

図書館からの情報配信のなかのメールマガジンなどは、具体的にいつから何を行うのか。日野市の図書館では登録時にホームページ画面の操作説明をするなどしている。新システム導入で、職員には研修があると思うが、利用者へのきめ細かいサービスも考えてもらいたい。

中村生涯学習センター図書館長

情報配信についての具体的な内容は未定です。新システムはマイページなどの豊富な機能があるので対応していきたいと思います。

利用者サービスにおける使い方などについては、4月にはしっかり対応できるようにしたいと考えています。

山崎委員

システム変更の移行期には、さまざまな問題が起きるのはよくあること。失敗してもいいというわけではないが、システムは決して完璧ではない。皆で育てていくことが大事だということを申し上げたい。

三浦会長

よろしいでしょうか。それでは、報告事項2の「9月補正予算について」のうち「学校貸し出し配送便について」事務局からご説明願います。

事務局（松島主査）

学校貸し出し配送便について説明いたします。

学校図書館の資料を効果・効率的に充実させるため、従前より、中央図書館から各小中学校へ団体貸し出しを行っておりますが、本年度

からスタートした「学校図書館サポートセンター」事業における重点校に対しましては、これに加えて300冊を上限に長期貸し出しも行うこととし、合わせて団体貸し出しの利用校の増加及び長期貸し出しの定着を図るため、新たに学校と図書館を直接結ぶ配送システムを構築しました。

具体的には、図書館から学校へ団体貸し出しする図書につきまして、職員が選出・準備をしまして、これをシルバー人材センターに委託したメール便で、希望する学校に搬送し、返却図書につきましても同じメール便で図書館に返送するというものです。

財源としましては、東京都の緊急雇用創出事業臨時特例補助金を活用することになっております。

なお、資料の方に付けました「学校貸し出しの配送便がはじまります」ですが、これは、過日行われた小中校長会の際に出した資料です。これで学校に配送希望を募りましたところ、11月23日現在小学校で31校・中学校で3校の申し込みがありました。来月の7日から事業がスタートします。報告は以上です。

三浦会長

中学校の3校は全38校のうちということで考えると、もう少し周知を図った方が良いでしょうか。

望月中央図書館長

これまでの各図書館で受け取るサービスでの実績と、傾向としては小学校が多く中学校が少ないことやこの時期が少ないことなどが同じですが、浸透していけば増えていくと見込んでいます。

鈴木委員

中学校でいうと修学旅行に向けて利用することが多い。4月～6月と9月が時期であり、事前に使うため1学期に期待できると思う。

大東委員

冊数は多いが古い資料があると聞いたことがある。調べ学習なので新しい図書が入ったら配信してみたらどうか。

三浦会長

先生方からも古い資料が入っていた場合に、連絡をいただけるような方策を考えてもいいですね。

斉木委員

団体貸出用資料のなかで八王子を調べる図書のリストがあるかどうかを図書館に問い合わせたところ、ないという答えをもらった。あるべきだし、今後つくっていただきたい。

中村生涯学習センター図書館長

団体貸出用の資料も数千点あって、職員がテーマごとに選別していますのでリストは用意していない状況です。新システムは検索スピードも速いため、いろいろな条件で検索することで、利用する方が直接調べることも可能となるのではないかと考えています。今後きちんと対応していきたいと思います。

斉木委員

現在ホームページにある「こどもレファレンスシート」は参考になるので新システムでも残してもらいたい。

中村生涯学習センター図書館長

さらに良いものを追加していきたいが、現在のものも残します。

小林委員

この件については、各学校で学校長から教諭に周知されたのか。

望月中央図書館長

校長会と、副校長会においてもご説明しました。

鈴木委員

他の学校はわからないが、私の学校はオープンにしました。ただ、希望がなかったということです。

山崎委員

現在はインターネットなどで簡単に調べてしまうが、書架で感じる知識の巨大さは味わえない。図書を調べることの大事さを大学でも学生に伝えていきたい。インスタントな時代だが、図書館でもぜひ図書で調べることに繋げるように取り組んでもらいたい。

三浦会長

よろしいでしょうか。それでは報告事項3の「国民読書年記念フォーラムの報告について」ご説明願います。

田中生涯学習センター図書館主査

国民読書年記念フォーラムについて、ご報告いたします。

読書のまちづくり及び読書の重要性に取り組んできた本市として、国民読書年の啓発とともに「読書のまち八王子」を広く市民に知ってもらうことを目的として、多くの市民団体の協力をいただき、11月3日（文化の日）に「八王子読書フォーラム」を開催いたしました。

当日は、クリエイトホール5階ホールを中心としたステージプログラムと市民団体を中心に各階でワークショップを開催しました。

当日の参加者については、お手元にお配りしてあります資料No.5をご覧ください。ホールで行ったオープニングセレモニーや講演会・朗読会等に484名、各階で市民団体が行ったワークショップに938名。合わせて1422名（延べ）もの方の参加がありました。

読書フォーラムの中心となる記念講演会は、かつて八王子にお住まいだった芥川賞作家の三田誠広さんに『現代を生きるための読書』と題して講演していただきました。会場を埋め尽くした参加者の皆さんに向けて、物理の話題から経済、そして文学へとユニークな切り口でお話いただき、解りやすいお話に好評を得ました。また、今回手話通訳を付けたことでハンデを持つ方も参加することができ大変喜んでいただけました。参考として、参加された方からいただきましたアンケートをまとめました資料を付しましたので、後ほどご覧願います。

なお、この講演会の模様は、八王子テレメディアにも取材され、八王子市制作番組「市民の広場」（60分番組）にて11月27日（土）・28日（日）の両日（9:00・12:00・22:00）放映される予定です。

ワークショップにも沢山の方にご参加いただきました。おはなし会も、「素話のストーリーテリング」や「超大型絵本や紙芝居を使った読み聞かせ」「手話によるおはなし会」など、いろいろなおはなし会を体験していただきました。話し手として参加された方の声として恩方地区図書館の代表者の方からは、「自分たちが日ごろ行っている活動を、新たな場面で緊張しながらも披露できる機会を作ってもらって良かった。」と感謝いただきました。

また、特別企画として行った「読み解く文学講座」も多くの方に参加いただき、大学生の協力により有意義なイベントとして行うことができました。報告は以上です。

三浦会長

この内容について、ご意見ご質問などありましたらお願いします。

大橋委員

文庫連として参加させていただきました。ワークショップで手一杯ということもあり他の活動を見る機会がなく残念でした。

国民読書年ということではなく、ぜひ続けてこのようなイベントを開催していただきたいと思います。はじめての試みということもあり準備等に追われバタバタした点もありましたが、楽しかったという感想も多かったので、来年度以降も期待しておりますので、よろしくお願いたします。

望月中央図書館長

委員におかれましては、多くの皆様にご参加いただきましてありがとうございました。

斉木委員

ぜひ継続してほしい。「読書のまち八王子」をはじめ知ったというような声もあった。継続することで定着すると感じた。

埼玉県三郷市も「読書のまち三郷」を掲げているようで、三郷市では「読書のまち三郷だより」というのを毎月発行しているようで、そういうものが発行されていけば市民が読書のまちを認識することもできると思う。八王子市でも情報を出していかないとなかなか伝わらないし、家庭での読書活動も活発にならないと思いますので、これをきっかけとして毎年行っていただきたい。

三浦会長

情報発信をしっかりとやりましょうということですね。市民は1年で1割が入れ替わるといわれていますが、毎年繰り返しPRしていくことが大事だと思います。新システムも導入されるなかで、情報発信の方法もご検討いただきたいと思いますのでお願いいたします。

また、大学生の協力により行った特別企画は、フォーラムが行われたクリエイトホールと違い、中央図書館で行われたにもかかわらず参加者が多かったことは、特筆すべき点かなと感じました。大学生との協力体制という仕組みができたことも良かったし、市民が表に出て活動できる場を多く設定してもらえると納得して参加してもらえ、今後もぜひ続けていただける内容を考えていただけたらと思います。

望月中央図書館長

このフォーラムは今年度に入って、国民読書年を読書のまち八王子推進のきっかけにしたいと考え進めたものです。

会長もおっしゃったように、今回支えていただいたボランティアの方々の活動が広がるためにも、市民が主体となって市民の皆さんに広めていくという場をつくるということで、今回はじめての試みとして開催させていただいたものです。

特別企画についても、学生からもぜひ続けて行ってほしいという意見もあり、参加いただいた方からも読書会形式が良かったという感想がありました。

町田市では市民による実行委員会が企画し実施しているという例もあるようで、職員の人員体制が大変な中ではそのような形も参考にしながら、継続して行えるよう考えていきたいと思っています。

また、テレメディアでの放映以外にDVDもくることになっておりますので、図書館で貸し出すなど広めていきたいと考えています。

三浦会長

ワークショップに参加された代表の方々に集まっていただいて今回の感想など聞くとともに、ボランティアの方々にも自分たちからやろうという気持ちを持っていただけるような方向でお願いします。

また、特別企画も教授が前面に出ないで学生たちが調べて発表するという形式が好感を持ってましたし、学生にとっても良い機会となるという面からとらえても続けていただければと思います。

山崎委員

会長がおっしゃったように、学生が主体的に発表するということは社会との接点につながる面もある。良い機会を与えてもらった。

また、ワークショップの中では、少し地味だが「多摩地域資料の展示」が行われていた。これは、歴史の研究者などにも垂涎の資料となるわけで、今後インターネットなどでもPRしていくべきと思う。

三浦会長

よろしいでしょうか。次は報告事項4の「読書のまち八王子」推進コンクールについて」ご説明をお願いします。

松葉委員

お手元の資料No.6ですが、小P連で初めて行ったもので、当初は子どもたちの感想文にしようという話もありましたが、秋はイベントも多く、忙しい中で募集しても書き慣れた子しか出さないのではという意見もあり、保護者と先生が対象ということになりました。

読売新聞や毎日新聞でとりあげてもらいました。読書のまち八王子ということを知らない保護者が多く、このチラシを見てはじめてわかったという声もありました。

表彰については、個人賞と団体賞があります。個人賞は読売新聞に掲載するなどしますが、ユニークなのは団体賞で、内容には関係なく各学校の世帯数のうちで応募の割合が高いところが入賞することにしたものです。

今年は初めての企画でしたので、次回からもっといい企画にしていければいいと小P連としても考えているところです。

三浦会長

読書の秋ということでこの時期の実施と思いますが、行事が多いので、この時期は逆に外した方が良いかもしれませんね。

大橋委員

巡回の際など機会があるごとに宣伝をしている。団体賞は数ということもあるので。これも続けていくことで周知されていくと思う。

三浦会長

最初から周知されることは難しいので、企画を実施する際は小P連で動員し宣伝するなどひとつと思いますので、今後もぜひ頑張ってください。

小林委員

とても良い企画だと思う。小学校でも、このコンクールについて知らない保護者も多く感じるので、さらに周知を図ってほしい。

ボランティア団体などでもこのような情報を知ることのできる方策なども考えてほしい。

三浦会長

よろしいでしょうか。それでは、本日の議題は以上となります。

次回の日程ですが、来年になりますが、2月22日の火曜日か23日の水曜日でいかがでしょうか。

望月中央図書館長

よろしければ、どちらの日でということにさせていただき、本日欠席の方々にも確認して、都合の良い委員が多い日にさせていただくことでよろしいでしょうか。

三浦会長

では、2月22日か23日のいずれかということで調整していただくということで、よろしく願いいたします。

以上をもちまして、本日の会議は終了させていただきます。